



食生活
アドバイザー

アさんによる食生活講座

先月につづき、昨年の最新ニュースをまとめました。
前回は健康増進に役立つ情報でしたが、今回は
健康に悪影響を及ぼす食習慣がメインテーマです。
参考にして普段の食生活を見直してみましょう！

近年、「超加工食品」という言葉が使われるようになってきました。カップ麺や加工肉スナック菓子、一部の加糖飲料、ファストフードといった普段よく口にする食品が超加工食品に分類されます。超加工食品の健康への悪影響がスペインのナバラ大学やアメリカの国立衛生研究所から報告されています。また、ジュースや甘い炭酸飲料、スポーツドリンク、100%フルーツジュースなどで死のリスクが高まることが、米ハーバード大学、フランスの国際がん研究機関、米エモリー大学から発表されました。日本では、アレルギー発症件数が増えているアーモンドが食品表示推奨品目(特定原材料に準するもの)に新たに追加されました。

昨年は、他にも次のような研究報告がありました。

- ・第6の味覚として脂肪の味を伝える神経発見(九州大学)
- ・マーカリンやお菓子、加工食品などに多いトランス脂肪酸が認知症のリスクを高める。(九州大学と神戸大学)
- ・家庭単位の食塩摂取量が多いと、家族全体の死亡リスクを上昇させる。(滋賀医科大学)
- ・少量の飲酒でも10年間続けるとがんのリスクが増加する。(東京大学)

これらはまだ研究段階ですが、健康的な食生活のため参考にしていただきたいですね。次号からは旬の食材を一つひとつ取り上げて紹介していきます！

花粉症対策は早めがポイント！

今年も辛い花粉症の季節がやってきました。花粉症とは、鼻腔内に入ってきた植物の花粉に対する免疫反応によって、鼻水等の症状が引き起こされることをいい、「季節性アレルギー性鼻炎」とも言われます。まずは風邪と花粉症の症状の違いをみていきましょう。

『鼻水』水のような粘り気がなくサラサラした透明なものが止まらずに出でます

『鼻づまり』鼻つまりとともに口の渇き・咳などの症状が現れ食べ物の味が分からなくなることもあります

『くしゃみ』花粉症のくしゃみは、風邪やインフルエンザの時よりも回数が多いのが特徴です

『目の症状』花粉症による目の3大症状は、かゆみ・充血・涙です

2020年春の富山県における花粉飛散量は、昨年の25%程度、過去10年の平均の45%程度という

ありがとうございます。とはいっても、毎年花粉に苦しんでいる皆さんには、今年も早めに対策を始めましょう。

北陸では花粉の飛散が2月下旬から始まる予想されていますので、2月上旬頃から薬を飲み始めるをお勧めします。症状が出る前に薬を飲み始めて、症状が出る時期を遅らせたり、症状を軽くすることができます。

また、今まで丈夫だった方も油断は禁物!! 2~3人に1人は花粉症というデータもありますので、鼻がむずむずしたり、くしゃみや鼻水が出てきたら、早めに受診するようにしましょう。

花粉が沢山飛び交う季節には、まずは花粉に触れないことが大切です。

おサングラスやめがね、マスク、帽子を着用しましょう。

コンタクトの方はなるべくメガネを使用するようにしましょう。

帰宅時には洋服についた花粉を落としてから家に入り、うがい・手洗い・洗顔をしましょう。

お布団や洗濯物がなるべく外に干さないことも大切です。

皆さんが少しでも穏やかに春を過ごせますように…♪

バレンタインコーナーに行くと、とてもかわいらしくて、おいしそうなチョコレートが並んでいますね！ チョコレートの誘惑に負けて、ついつい自分用のチョコを買ってしまいます…(笑) チョコの食べすぎに注意しよう！